

「日本資本主義の父」とよばれる渋沢栄一（しほざくさかゝい）の5代目子孫、渋沢健（さきわけん）（47）。投資銀行を経て、97年に米系ヘッジファンドの東京事務所を立ち上げた。

01年、米国の9・11同時テロで世界の金融市場が大混乱、人生観が変わった。「金融は、社会がきちんと動くという前提の上（う）に立っている」。独立して事務所をかまえ、米国のヘッジファンドと組んで、運用益の一部を日本のNPOに振り向けるプロジェクトを進めている。（織田一）



渋沢健さん